

# 貴方の将来を拓く長期インターンシップ - インターンシップ制度の国際比較から -

東北大学 片平さくらホール

January 15, 2016

**東北大学 名誉教授 加藤 修三**

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 キャリア支援センター  
高度イノベーション博士人材育成ユニット

# Abstract

国際的に就職の条件は「就職希望者がスキルを有すること」ですが、他の多くの国と異なり、日本だけが(調査18ヶ国中)スキルが無くとも現在は就職が来ています。しかし、日本企業はよりタフな国際競争にさらされ、「論理的に議論ができ、スキルがあり、かつ英語が話せる」新入社員を求めざるを得ない状況にあります。この例は近年の幾つかの大手企業が外国大学卒業生を本社採用の新入社員として20～25%採用する傾向に見られます。これからの就職で日本人大学生が競争しなければならないのはこのような「論理的に議論ができ、スキルがあり、かつ英語が話せる」外国の大学卒業生です。

外国ではスキルがなければ一生就職はできません。このスキルを獲得する方法の一つとして海外では多くの学生が長期(3-9ヶ月)インターンシップを経験します。インターンシップでスキルを身につけるには3ヶ月が最小期間です。そして、例えば米国では、インターンとして働いた会社に約60%の学生が就職します。

日本のインターンシップは“One day internship”が約58%とインターンシップとは呼べないような経験者が現在は多いですが、学生の就職が外国と同様に、「スキルで評価」され、「長期インターンシップ経験者 - スキルの有る就職希望者」が優遇される時代がすぐそこに来ています。

## 参考 加藤 修三 1/2

1. 大学卒業後日本の大手キャリアの研究所に就職、
2. 45才で起業するまでに**技術をボトムから世界のトップに2回立ち上げ**、 - 日米で38品種のASICを開発 (半数以上実用化) 世界初のTDMA チップセット (1986), 世界最高速のViterbi復号器(1987, 世界市場50%シェア)等
  - - 世界初の2V SOC,世界初の全デジタルPHS Modem・TDMAチップ, 世界初の同期検波・ADPCMのクリック雑音除去 - 開発チップの受信感度は当時の他社製品に比較し6dB優る
  - - 某社衛星通信システムを3世代にわたり開発・事業導入、商用試験を実施 - 実質的に95%の衛星通信システムをASICから商用装置まで開発
3. 日本で1995年に起業、某社の専務取締役、社長を歴任 - この間、Eng, TQC, 製造、マーケティング、セールズ、P/L等を担当
4. 米国で携帯電話用ASICの開発、携帯電話の開発、メキシコでEMSを用い製造 - 受信機感度で他社を圧倒(含むNokia), マスプロに入ってから3ヶ月以内に生産歩留まり90%以上を達成(2001年時、米国携帯電話業界のレコード)、顧客から“Best handset ever purchased”と評価される
5. 日米で研究開発, 製造, QC、マーケティング, HR, P/Lを体験, 技術者の**採用面接を日米でそれぞれ、1000人以上実施**、
6. 米国で2001年に起業、911で米国のVCが全て止まり、断念、
7. 米国流ビジネスを学ぶべく、米会社に就職、日本のヘッドとして2003年に帰国

## 加藤 修三 2/2

8. 上記日本支社の立て直し、Toyota wayを手本にCost down 50% Projectを興し、1.5年でコスト51%カットを達成し(ProductのGP> 55%)、世界市場65%を獲得、
9. 2005年に米国に復帰途中、NICT に捕まる – NICTを中心とした日本無線通信のRevive に貢献 – 日本がリードした初めてのIEEE標準化(IEEE892.15.3c)の達成、
10. 当時12名のポスドクを部下に世界と競争 – 日本人ポスドクの圧倒的弱さに驚嘆 – 論理的な議論・発表ができない – 大学の教育に問題？
11. 大学からのコールに応じ、帰学：Seminar on “University globalization”等、国内/国際セミナーを20回以上、仙台、東京で開催、
12. 2013年、日本電子工業会、経団連にて問題の原因を共有
13. “弱い日本の大学卒業生”の原因を含め日本の問題及び原因が分かりつつある状況
14. 短距離無線技術の日本定着を目指し、電子情報通信学会にSRW(短距離無線通信)研究会を新設(2013~)(本業は無線通信の研究開発)
15. 2015年3月に東北大学 電気通信研究所 退職。現在、東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター 客員(名誉)教授、東北大学 高度教養教育・学生支援機構 キャリア支援センター 高度イノベーション博士人材育成ユニット 非常勤講師及び東北大学 工学研究科 非常勤講師として無線研究を続けるかわら、博士課程学生の人材育成に従事。また、グローバル・スターコム社を創設し、YRP協会の協力を得て、学外の第3機関として、大学生・院生の論理的思考力向上、プロジェクトマネジメント力の向上をPBLにより計る集中インターンシップを横須賀YRPにて開催予定
16. IEEE Life Fellow, 電子情報通信学会Fellow